

「教育の町」づくりを進めています

1. 「教育の町」づくりとは

富士見町教育委員会は、「子育てを支援し、豊かな人間性を育む保育・教育・生涯学習環境の整ったまちをめざして」、次の6つの政策・施策の展開を図ってきました。

- ・子どもの人権・最善の利益を尊重します
- ・子育てを地域全体で支援する体制を整備します
- ・豊かな感情と知性を育む教育・学習環境を整備します
- ・生涯学習を推進し、心のふれあう文化のまちをめざします
- ・男女共同参画社会づくりを推進します
- ・町の歴史と人々の生活、文化遺産を学ぶ環境を整備します



今年度から、これらの政策全般を「教育の町」づくり推進事業と位置付け、その実現に向け進めています。子どもたちが将来に大きな夢を持ち実現できるよう支援し、学び合う風土を醸成します。特に学校教育についての重点施策と、これまでに実施した具体的な活動を紹介します。

- ① 英語学力向上に向けた小中一貫した教育の実施と外国人講師の配置。
- ② 「家庭学習の手引き」の配布、活用による家庭学習の習慣づけと学力の向上。
- ③ 「無料塾」により、中学生の基礎学力の底上げを支援する。

2. 「教育の町」づくりを実施する具体的施策（学力の向上）

① 小・中学校一貫した英語教育と外国人講師の配置

◇英語の授業にプログラムを導入

今年度から新しい方式の英語プログラムを導入しました。よりしっかりとしたカリキュラムが組まれており、先生方も年に何回も行われる研修会で勉強しています。各学期に1回ずつ、カリキュラムを提供しているPLS英語教育研究所の講師が各小学校の授業を参観し、先生方と授業研究会を行います。日々の授業の中での疑問点等をその都度解決し、授業に生かしていける体制を組んでいます。

◇アレックス先生と一緒に学ぶ英語の授業

4月から赴任したアレックス先生（米国ユタ州出身）は、3小学校の全児童に英語を教えています。普段の授業時間だけでなく、日替わりで各教室を回り児童と給食を食べ、掃除も一緒にしています。子どもたちは、普段の何げない関わりの中からも、日本語と英語の表現、文化の違いなどを肌で感じ取っています。

英語の授業風景▶

英語絵本『はらぺこあおむし』の読み聞かせ



▲最後にNLTとハイタッチをしてお別れしました。

◇すべて英語で… 好評だったインターナショナルデイ

7月に富士見小学校で初めてインターナショナルデイを行いました。6名のNLT（外国人英語教師）と6名の日本人スタッフと一緒に、英語での自己紹介やじゃんけんゲーム、北半球と南半球に分かれた各ブースを回るゲームや活動をしました。使われるのは全て英語で、サポートに入る日本人スタッフも基本は英語。どうしてもわからない時だけ日本語でフォローしました。普段の英語の授業とは一味違い、大勢のNLTとの交流を大いに楽しみました。参加した児童からは、「いつもの授業と違って、いろいろな先生がいて楽しかった。英語ってこんなに楽しいんだと思った」と感想がありました。学校の先生からは「英語が使われている国の様子や、景色、お金のことなど、とても面白い内容。普段から外国人の先生に接しているためか、初対面のNLTの先生方とも物おじせず接する姿があり良かった」と好評でした。

《今後の予定》 10月25日(木) 富士見中学校 インターナショナルデイ
 11月21日(水) 境小学校・本郷小学校 インターナショナルデイ
 12月 3日(月) 富士見小学校 外国語活動 英語の公開授業

② 「家庭学習の手引き」を活用

◇家庭学習を習慣に その日のうちに復習しないと忘れてしまいます

5月に「家庭学習の手引き」を作成し配布しました。目的は基礎学力を向上させること。家庭学習を習慣づけることが、町の子どもたちの基礎学力を向上させるためには欠かせないことと考えています。構想から1年以上の時間をかけて、町内小中学校の先生方が協力して作り上げました。各学年に適した学習方法が書いてあります。ご家庭で折に触れて読み返し、日々の家庭学習に役立てていただきたいと思います。

また、小学校1年生から中学3年生までの家庭学習時間の目安や学習のポイントが示されているので、ぜひ保護者の方々に学んでほしいと思います。中学校のところでは実際に生徒がまとめたノートなどがありますので、ぜひ自分のお子さんと比較し、ご家庭でもアドバイスをお願いします。

「学校で学んだことをその日のうちに復習しないと忘れてしまいます。だから、家庭で学習する習慣はとても大事です。学習に集中できるために、早寝・早起き・朝ご飯の生活習慣も大事です。子どもが進んで勉強する意欲を向上させるように学校と家庭が協力しましょう」（「家庭学習の手引き」より抜粋）

③ 初の取り組み「無料塾」…【好評】

8月1日から9日までの7日間、富士見中学校生徒79名、講師25名で行われました。参加した生徒・講師の声を紹介します。

《生徒の声》

- ・レベルに合わせて授業時間を配慮してくれてうれしかった。
- ・文章問題がずっと嫌いでしたが、パソコンで説明されたとおりにやってみると思った以上にできて良かった。無料塾にきて本当によかった。
- ・秋以降もぜひ無料塾をやってほしい。
- ・応用問題を混ぜて授業をしてほしい。

《保護者の声》

- ・町でこのような取り組みをしてもらえるのは、すごいこと。
- ・夏だけではなく継続してほしい。
- ・できれば小学生、中学1年生から行ってほしい。

《講師の声》

- ・素直な学習態度が「ふじみっ子」らしく聴く姿勢や気持ちがとても気持ち良かった。
- ・気持ちのいい生徒たちと学習でき、また様々な経験をお持ちの講師の方々と接し、いい時間を持ち、私自身、勉強になった。
- ・3年生に限定したことではっきりした目標が位置付けられていてよかった。

【今後の「無料塾」に向けて】

講師自身がとても楽しく充実した7日間を過ごせたという意見が大半ですが、細かな授業の内容となると、様々な反省点・改善点も浮かび上がってきました。

- ・生徒の人数はもう少し絞るか、または講師の人数が倍はほしい。
- ・1時間毎のプログラムがあいまいで、「今日これだけは」という抑えができていなかった。
- ・講師同士の役割分担など、授業の詳細について細かな事前打ち合わせをもう少し詰めるのを感じた。中には、空き時間に生徒と机を並べて授業に聞き入る講師の姿も見られました。また、多種多様な経歴を持つ講師が集まったため、講師にとっても様々な学ぶことができた「無料塾」となりました。

《小林洋文教育長より》「秋以降もぜひ継続したいと考えています」



▲個別に指導



▲数学の授業風景